



# 東板応援ネット 活用しましょう

# 東板

発行者

**東京都板金工業組合**  
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-27-9  
電話 03(5915)6333 FAX 03(5915)6334  
<http://www.touban.or.jp/>  
会員行 隔月1日 聞読料 1部 100円

### 〈大会宣言〉

- 1、組合員の増強で組織力をさらに強固なものにする
  - 1、次世代の飛躍のために後継者育成をさらに強化する
  - 1、登録基幹技能者でさらなる評価を獲得する
  - 1、責任施工保証制度で業界の信頼をさらに向上させる
  - 1、指定商品を積極的に活用する
  - 1、全板国保で健康寿命を延ばし、公的年金基金で老後の安心を確保する

お願いする  
ことなります。  
す、今後支  
部会など通  
じてご案内  
をいたしま  
すのでよろ  
しくお願ひ  
申し上げま  
す。

A large, conical mountain of discarded metal chopsticks (tensha) is displayed in a glass case. The chopsticks are piled high, forming a shape reminiscent of Mount Fuji. The display is set up outdoors, with a banner in the foreground reading "静岡" (Shizuoka) and "20日(水) 前夜祭 キーノロジーフェスティバル 静岡 5月".

めをして頂きました  
ブルック長・支部長  
の方々に感謝を申し  
上げます。また式典  
には揃いの組合ユニ  
ホーム（白ベスト）  
着用で着座し、式終  
盤での堀江理事長に  
よる次期大会開催挨  
拶にて、次回開催地のア  
ピールをしました。

オープンンし、大会式典並  
および終了後に来場者の  
お手で賑わいました。尚  
全板国保健家庭表彰は  
今大会より廃止となり

、の前 した。  
今回の大会は組合とし 拶では、舞台前に役員8名が「2023東京大会」  
ての旅行会は設けず各支 横断幕、「東京都板金工業組合」・「2023東京  
部・ブロック単位での参 加としました。とりまと 大会」・「板金の日」幟旗

A black and white photograph capturing a moment at a trade show booth. In the center, a man in a white lab coat and glasses is demonstrating a long, thin metal strip to an audience. Behind him, a man in a suit stands at a podium, addressing the group. The background is dominated by a large banner with the text "TOKYO 2023" and "第73回 全国建築板金業者 東". The banner also features a silhouette of the Tokyo skyline. In the foreground, several other people are visible, some holding flags or banners, including one for the "東京都板金工業組合" (Tokyo Sheet Metal Industry Association). The setting appears to be a large indoor exhibition hall.

暑中お見舞い

# 東京都板金工業組合

青 年 部 分 支	上木原睦典	事	原 貞吉
監	石井太一郎	事	八木原政東
監	関 昭代	事	元木 敏仁
理	菅野 力男	事	篠崎 茂雄
理	鈴木 千秋	事	秀幸
理	相談役会会長	事	





# New development

ハゼ折板自動かしめ装置  
シーミング K<sup>2</sup>  
ケイスケアード

新開発

屋根施工

常識が変わる  
3つの要素

新革命。

軽量化

35%減  
※

高速化

走行スピード1.5倍  
※

省力化

吊子及び中間部の  
仮締め作業が不要  
※

※性能について……当社現行機種との比較値になります。

株式会社協和（東京都台東区 代表取締役社長 河崎東美彦）は、ハゼ折板用自動カシメ装置「シーミング K<sup>2</sup>」を建ロボテック株式会社（香川県木田郡 代表取締役 CEO 真部達也）と共同開発しましたことを発表いたします。

■ 開発の経緯  
「シーミング K<sup>2</sup>（シーミングケイスケアード）」は、当社が従来から保有する電動シーマを、健ロボテック株式会社との共同開発によって圧倒的な施工効率化を実現した、次世代のハゼ縫合ロボットです。

本製品の開発の背景には、昨今の施工現場における作業者の高齢化、労働者数の減少など勤務環境の課題があります。これらの課題解決に貢献するために、「世界一ひとにやさしい現場を創る」をミッションに省力化・省人化ソリューションを提供している健ロボテックと協和がタッグを組み、圧倒的な軽量化、高速化、省力化など画期的な改良を実現しました。さらに、補助機能として安全装置を搭載。生産性を高め、安全な作業環境を支えてまいります。

「シーミング K<sup>2</sup>」は、協和の商圈エリア（東北・関東・信州）に限らず、協和とアライアンスを組んだ5社が、近畿・北陸・四国・北九州・南九州エリアで取り扱います。協力体制を整え、全国的に満足度の高いサービス展開を目指すことにより「屋根施工の新革命」で建設資材業界の発展に寄与してまいります。

■ 3つの特長

01 軽量化：作業負担を軽減

当社が従来から保有する電動シーマ（以下：従来品）の重量は45kgに対し、新開発のシーミング K<sup>2</sup>は35%軽量化し重量は29.5kg。小型軽量化により、現場の作業負担を軽減し、作業効率がアップします。

02 施工時間短縮による全体コストの削減

1 高速化：走行スピードアップ

従来品の稼働スピード230mm/秒から、シーミング K<sup>2</sup>は350mm/秒、走行速度を1.5倍アップすることに成功。1万m<sup>2</sup>の現場を施工する場合、従来品は23時間、シーミング K<sup>2</sup>は16時間と施工時間を大幅に短縮することが可能になりました。

2 省力化：作業効率向上

従来品を用いて施工する場合、吊子部及び、必要に応じて吊子間の中間部の手動工具（手ガッチャ）での締付け作業が必要でしたが、シーミング K<sup>2</sup>では不要となりました。※従来品と同様、手動工具（手ガッチャ）による水上・水下側の締め付けは必要です。

03 安全対策強化：補助機能として落下防止・即時停止機能搭載

落下防止機能搭載で、屋根端部ではセンサーが反応し自動停止。また、即時停止ボタンも備え、ヒューマンエラーによる落下のリスクを回避します。



協和は、安全・快適な住環境を支える建築資材メーカー・専門商社として、施工現場における課題は当社の、ひいては、建築資材業界全体が直面する課題と捉えています。「シーミング K<sup>2</sup>」は、現場の作業員の負担を軽減し安全に生産性の向上を実現する、課題解決のソリューションとして開発いたしました。

協和は「鉄鋼・建設業界における快適住環境のソリューションカンパニー」として、建築資材業界の持続可能な発展のために貢献してまいります。

■ 取り扱いエリア

東日本エリア 株式会社協和 東京都台東区上野7-12-13 TEL: 03-3844-6196

近畿エリア 津熊鋼建株式会社 大阪府大東市新田北町3-47 TEL: 072-872-2131

北陸エリア 株式会社北川 福井県福井市問屋町2-65 TEL: 0776-22-2694

四国エリア シンコユニ株式会社 香川県綾歌郡綾川町千疋4343 TEL: 087-877-1000

北九州エリア 信和鋼板株式会社 福岡県北九州市若松区大字安瀬8-4 TEL: 093-751-1580

南九州エリア 株式会社平島 熊本県熊本市西区島崎2-4-6 TEL: 096-354-1231

**Kyowa**  
GROUP

■ 本製品に関するお問い合わせ  
株式会社協和 事業企画室  
TEL: 03-3844-6196 E-MAIL: info@kyowa-kb.co.jp  
<https://www.kyowa-kb.co.jp/>